

# Magration System 12GC Plus

## Automated Nucleic Acid Isolation and Purification System

### クイックマニュアル

~ GenomicDNA Purification Whole Blood ~

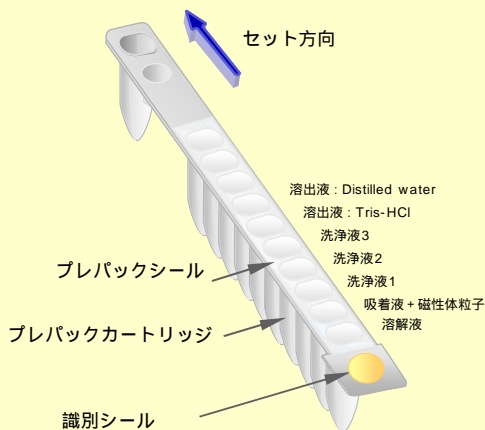


### 処理時間

全血からのDNA抽出：約30分



試薬 ( Magration® Genomic DNA Whole Blood : Code No. E1010 )  
ICカード (Genomic DNA Whole Blood : Code No. I-1510)



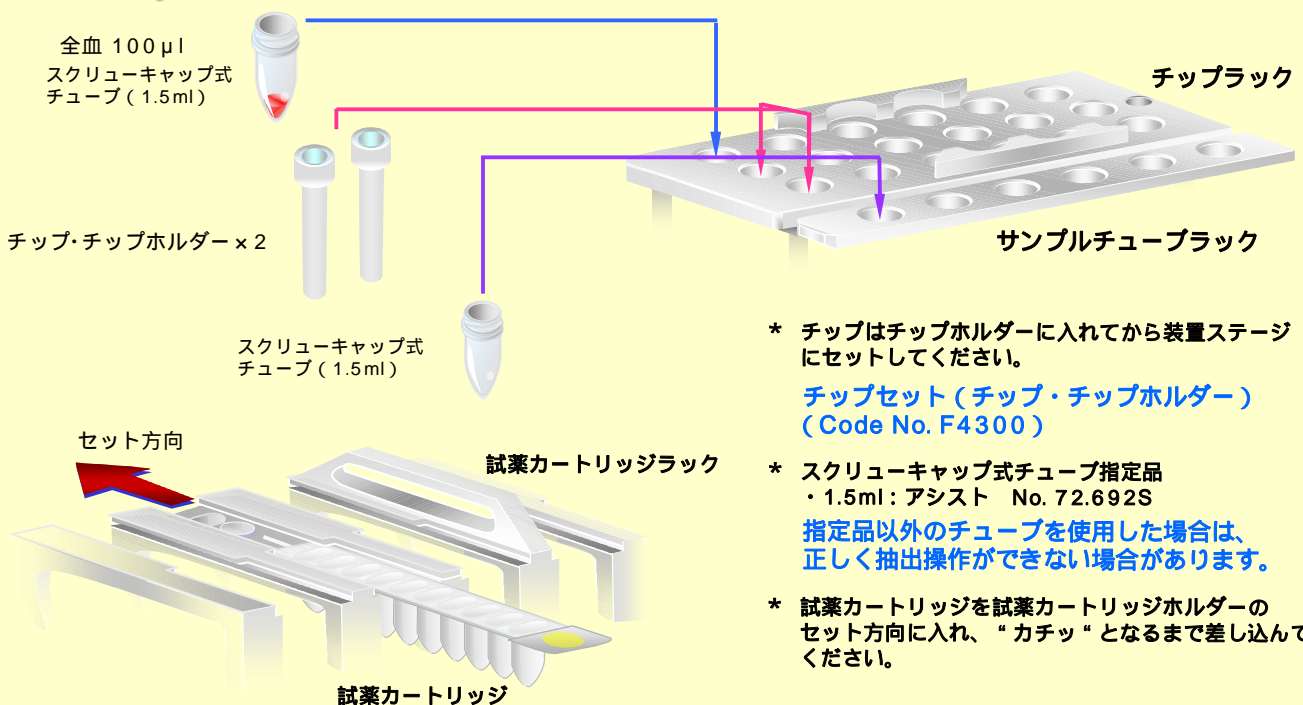
### Check!!

1. カートリッジ試薬に気泡が入っている場合は、軽くたたいて除いてください。気泡が入ったまま処理を行うと、試薬を完全に吸引できなかったり、攪拌時に泡立ちすることがあります。
2. シール部分やウエル内に試薬及び水滴の付着が見られる場合、軽く振って落として下さい。特に磁性粒子がウエルの壁面についている場合、泡立たないように転倒混和して壁面から剥がしてください。

本試薬は、室温 ( 15 ~ 25 ) にて保存し、高温多湿、及び振動のあるところは避けてください。また、アルミシールを上にして保管してください。



### サンプル・消耗品のセット



\* チップはチップホルダーに入れてから装置ステージにセットしてください。

チップセット (チップ・チップホルダー)  
( Code No. F4300 )

\* スクリューキャップ式チューブ指定品  
・ 1.5ml : アシスト No. 72.692S

指定品以外のチューブを使用した場合は、正しく抽出操作ができない場合があります。

\* 試薬カートリッジを試薬カートリッジホルダーのセット方向に入れ、“カチッ”となるまで差し込んでください。



## 処理のスタート

ICカードがセットされていることを確認して下さい。

1 2GC Plusの電源をONします。

Menu画面で **START** キーを押す。

同時に自動的に原点復帰を行います

検体/溶出/試薬バーコードの読取を選択します。

入力する場合は **↓** キーを押す。

バーコードの入力については「GC Data Station Quick Manual」を参照してください。

入力しない場合は **START** キーを押す。

Sample 情報画面へ移行します。

**↓** キーを押す。

Elution Bufferを選択します。

Tris-HCl(pH8.0) **1** キーを押す。

Distilled water **2** キーを押す。

**START** キーを押す。

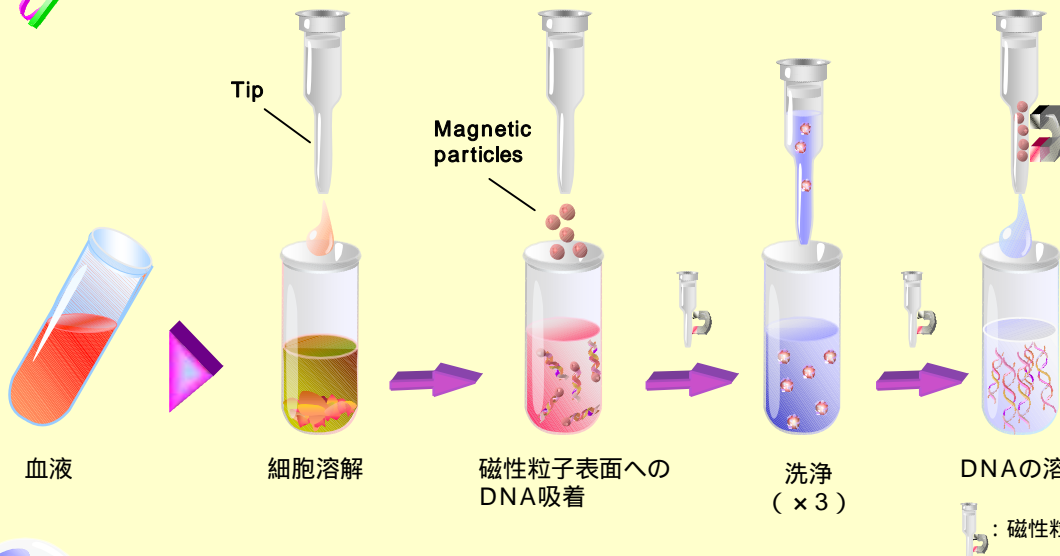
**実行**

\* RUN終了後にピープ音が鳴ります。

ICカードの抜き差しは、本体の電源がOFFの状態で行ってください。  
(故障の原因となります。)



## 抽出工程 - Genomic DNA -



## トラブルシューティング

症状	原因	コメント
収量が低い	サンプルの状態	サンプルとして使用した血液の保存温度等に問題が無いかをご確認ください。また、サンプルは十分室温に戻してから抽出操作を行ってください。
PCRがうまくいかない	ターゲットサイズ	本試薬で抽出されるDNAの平均鎖長は40 kbp程度ですので一般的なPCRには特に問題はありませんが、ターゲットサイズにより増幅しにくいことがあります。
	PCRのコンディション	溶出液としてTris-HCl緩衝液を選択した場合、次工程の反応条件によっては反応に影響が出る可能性があります。その場合は、溶出液の選択を滅菌水にし、抽出操作を行った物をサンプルとしてご使用ください。